

# 「生活表」による児童生徒の実態と改善点など

平成 26 年 8 月  
ドーハ日本人学校  
生徒指導主事

本校では、昨年の 2 学期から生活表を活用して、子どもたちのよりよい生活習慣の定着を図っています。「早寝、早起き、朝ごはん！」をベースにあいさつや返事、忘れ物、後片付け、友だちへの声かけなど育てたい項目を子どもたちの様子や行事に合わせて変更しています。

下記の集計結果は、1 学期のある週の生活表から集計結果を表したものです。これをもとに、保護者の皆様のご協力を得ながら、よりよい改善に努めて参りたいと思います。

## 1 睡眠時間について

学年	平均睡眠時間
1 年	約 9～9.5 時間
2 年	約 10 時間
3 年	約 10 時間
4 年	約 9 時間
5 年	約 8～8.5 時間
6 年	約 8～8.5 時間
中学部	約 8 時間

○どの学年においても、平均睡眠時間をしっかりと確保できている。  
△個人によって、差がある。→個人による振り返りや、家庭との連携が必要と考えられる。

## 2 朝ごはん

- 本校においては、ほとんどの児童がしっかりと朝ごはんをとっている。  
→集中して学習や生活ができていることにつながっている。

## 3 あいさつ

- 子どもたちは自分では、あいさつがきちんとできていると感じている。教師、保護者との見方になれがあるように思われる。  
→どのような時に、どのようなあいさつができるといいか、全校や学級で話し合ったり、家庭への協力が必要と思われる。

## 4 片付け

- △子どもたちは、自分では片付けができていると感じているが、実際はできていない場面が多い。できていないことに気づけていないのではないだろうか。  
→朝の会や帰りの会、学活や道徳の時間を活用して、指導する必要がある。または、強化週間を設定したり、保護者に啓発したりする。

## 5 やさしい声かけ

△項目としては抽象的であり、正しい分析ができなかった。具体的にどんな場面で、どんな言葉が適切か道徳の時間などを通して指導していきたい。

## 6 忘れ物

○全体的に本校の児童生徒は忘れ物が少ない。また、生活表の活用により、減少傾向にある。今後も継続的に指導する必要がある。

○学級通信などにより、しっかりと持ち物の連絡が徹底されている。

## 7 全体を通して

- ・「早寝、早起き、朝ごはん」をはじめとして、各家庭での落ち着いた生活習慣が、子どもたちのよりよい学校生活につながっていると思われる。
- ・個人の活用の仕方、各学級での取り組み方により効果が違ってくると思われる。
- ・各学級において、実態を話し合ったり、振り返ったりして、各自がしっかりと目標をもって生活できるよう指導していく。
- ・保護者の方への啓発や連携は、よりよい成果へとつながる。